

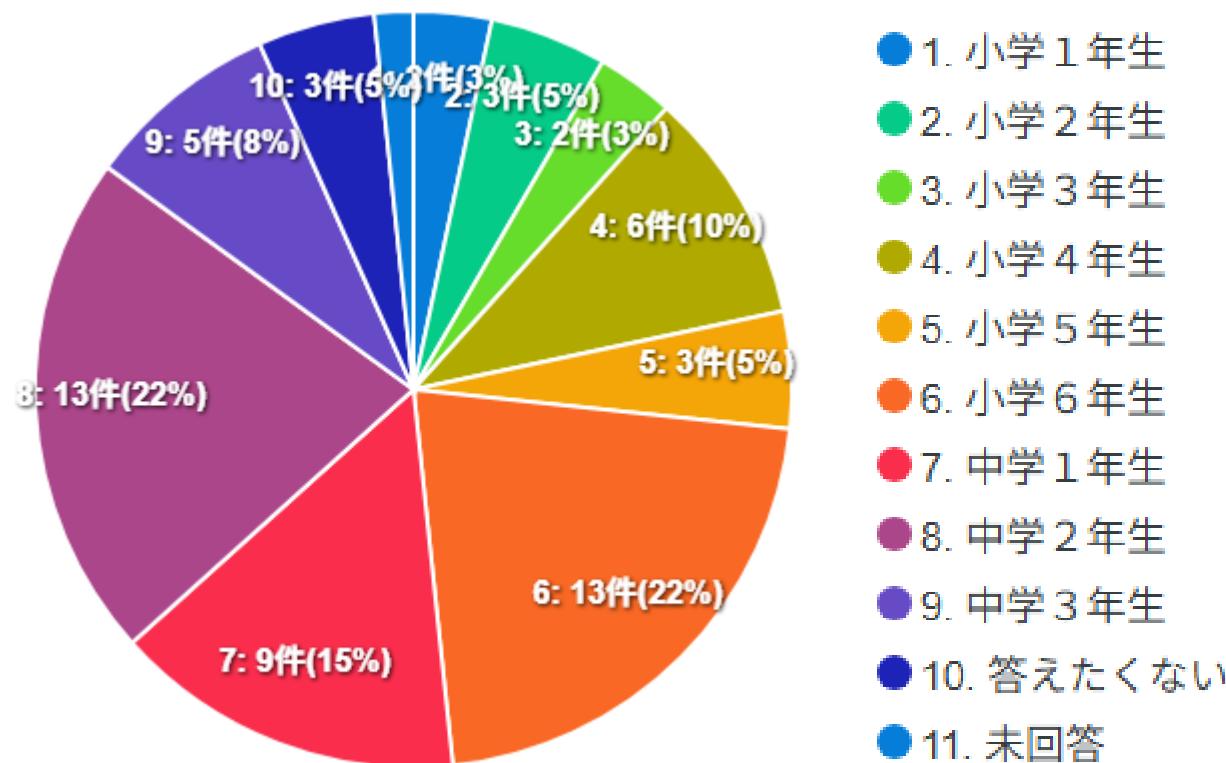
「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート

- 1 目 的 ①調査により学校に行きづらい、行けない、行かない児童生徒と保護者が、現状をどのように受け止め、どのような支援を必要としているかを明らかにし、今後の不登校対策に役立てる。
②「学びの多様化学校」についての市内小中学校保護者の認識の現状を把握し、今後の周知の方向性を探る。
- 2 対 象 ①現在、学校に行きづらさを感じている市内小中学校在籍の児童生徒及びその保護者
②市内小中学校在籍全保護者
- 3 方 法 すぐーるにて配信 → Form入力によるオンライン回答
- 4 期 間 令和7年1月21日（金）～令和7年2月15日（月）

「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

＜児童生徒アンケート＞ 回答数 60 件

Q1.あなたは何年生ですか。



小学生 29名

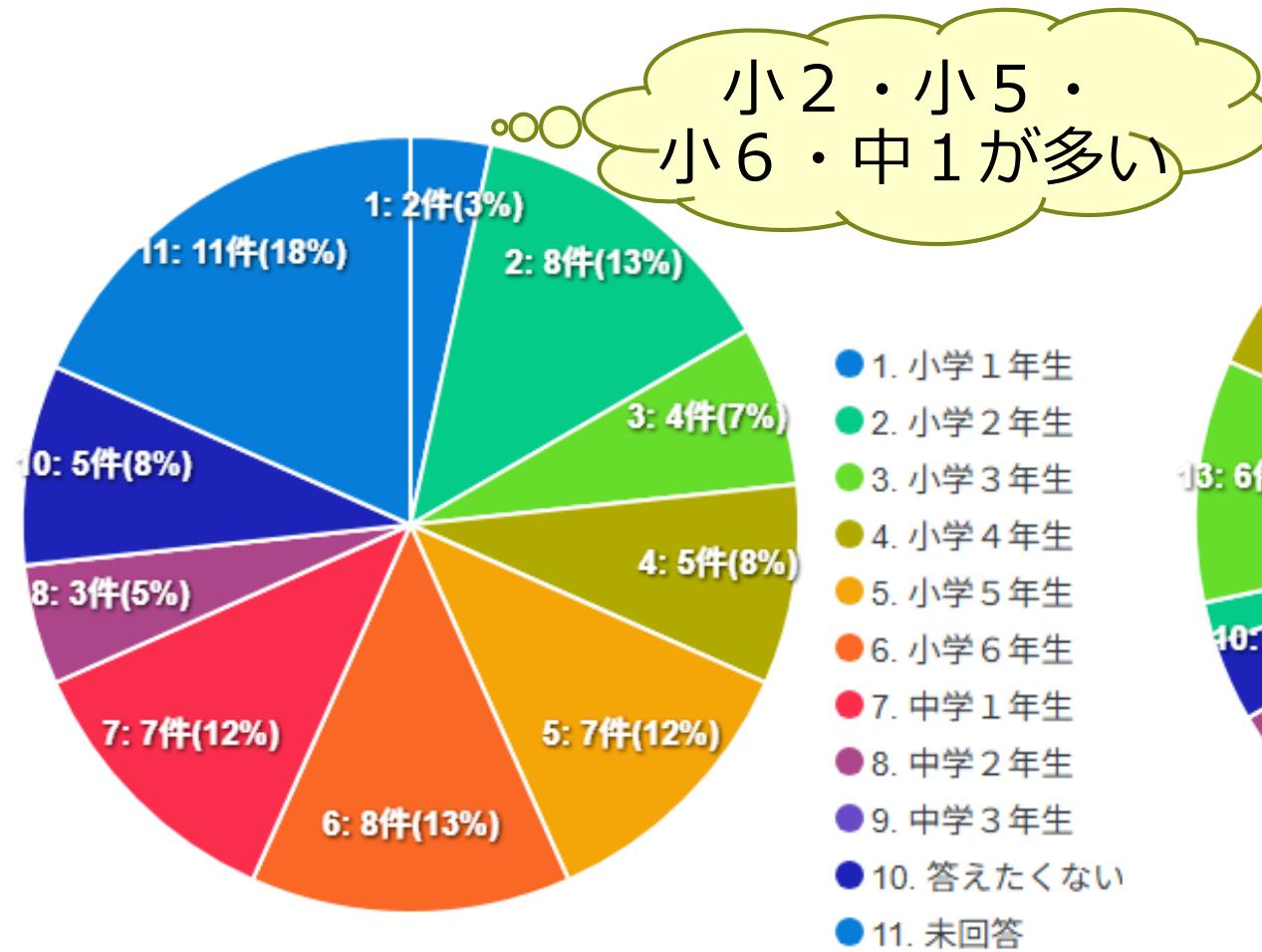
中学生 27名

(未回答 4名)からの回答

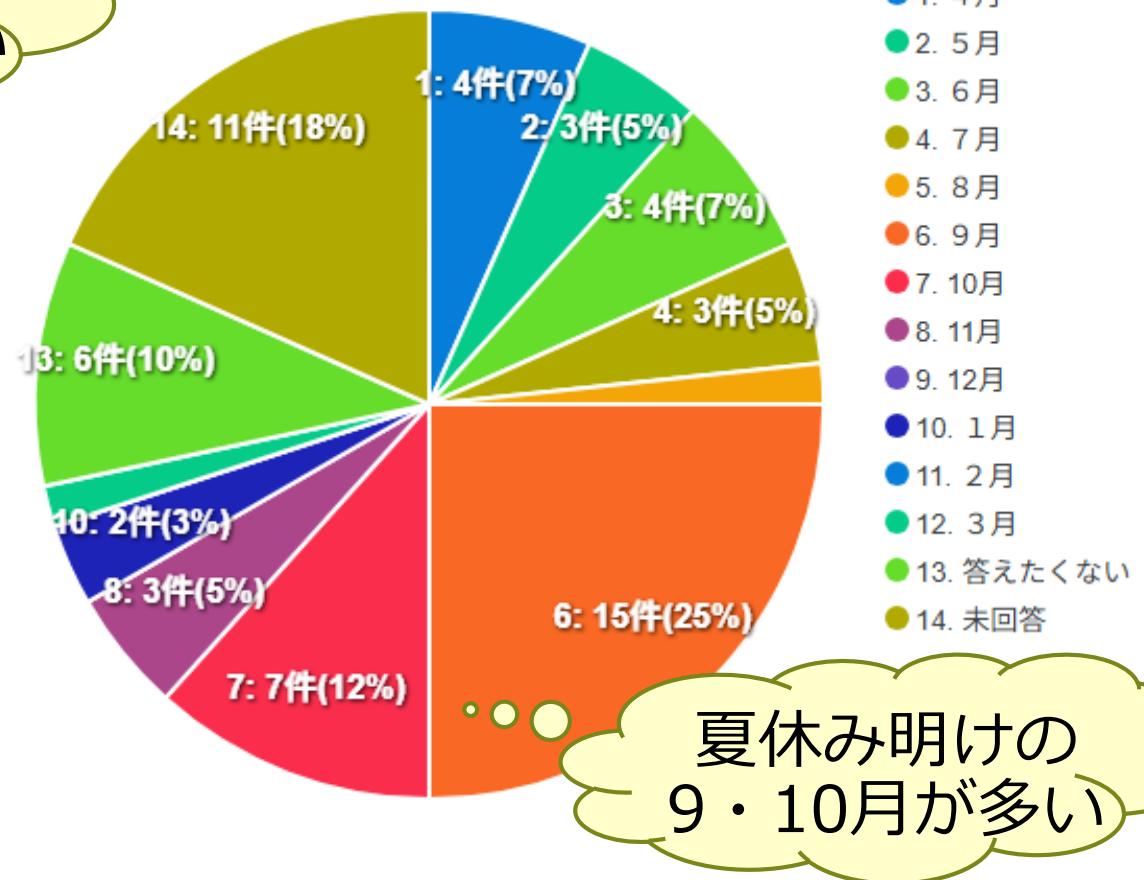
中2・小6が最も多く、
次に、中1→小4と続く。

「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q2. あなたが学校に行きづらくなったのは何年生のころですか。

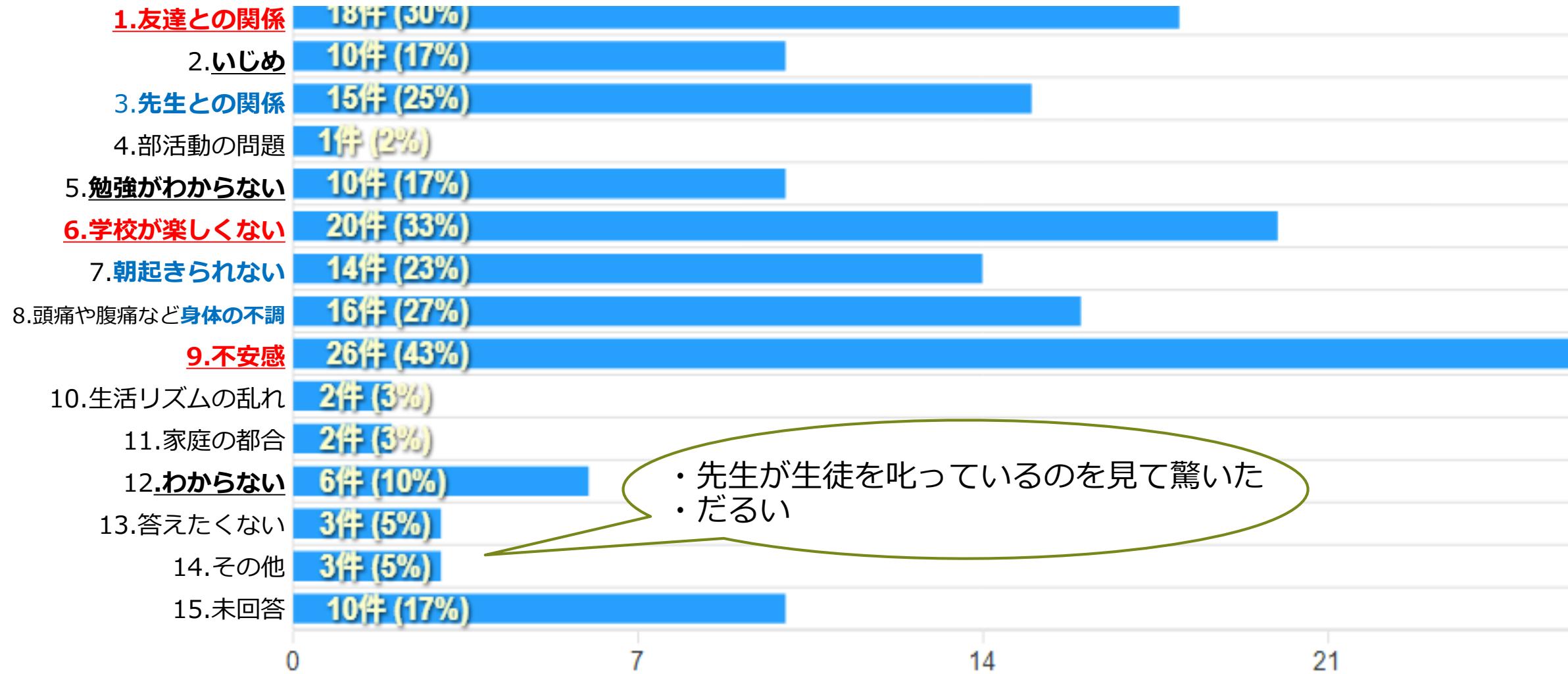


Q3. 何月頃ですか。



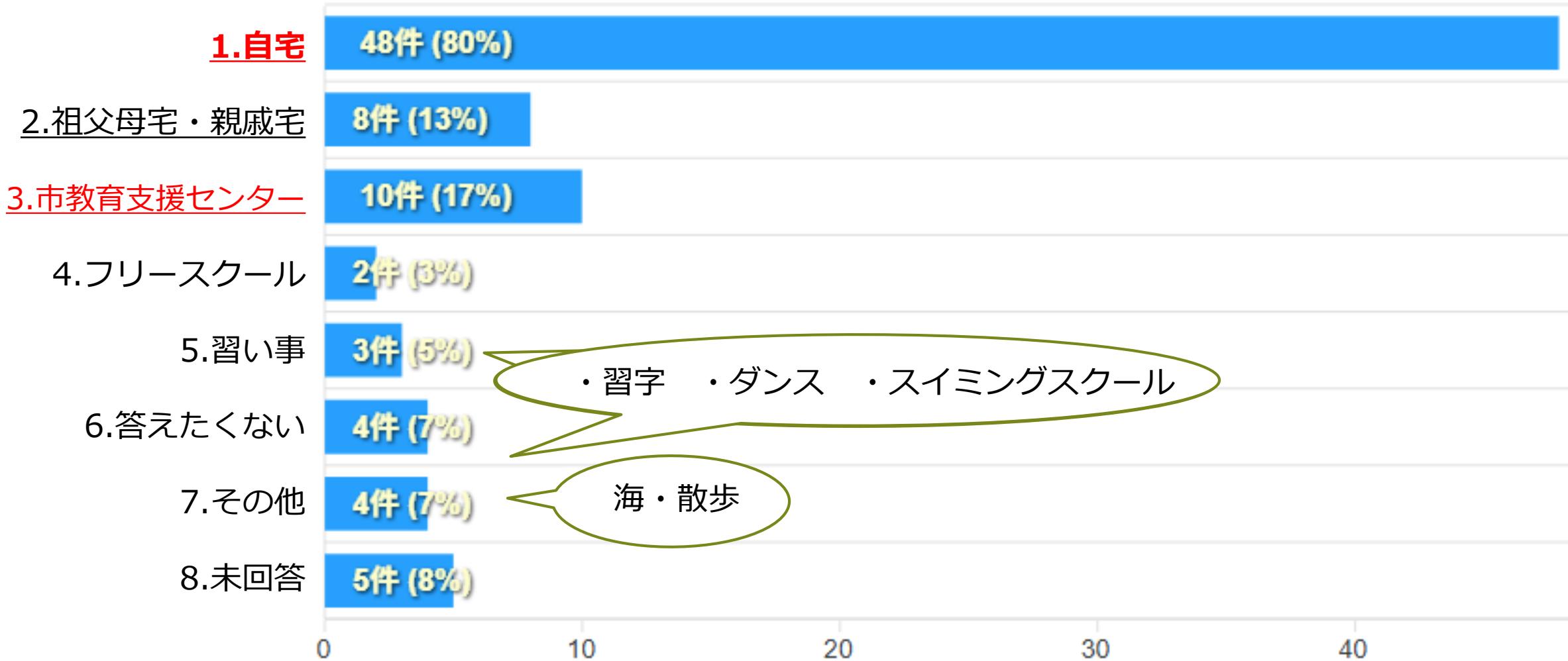
「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q4. 学校に行きづらくなったきっかけは何ですか (あてはまるものすべて)



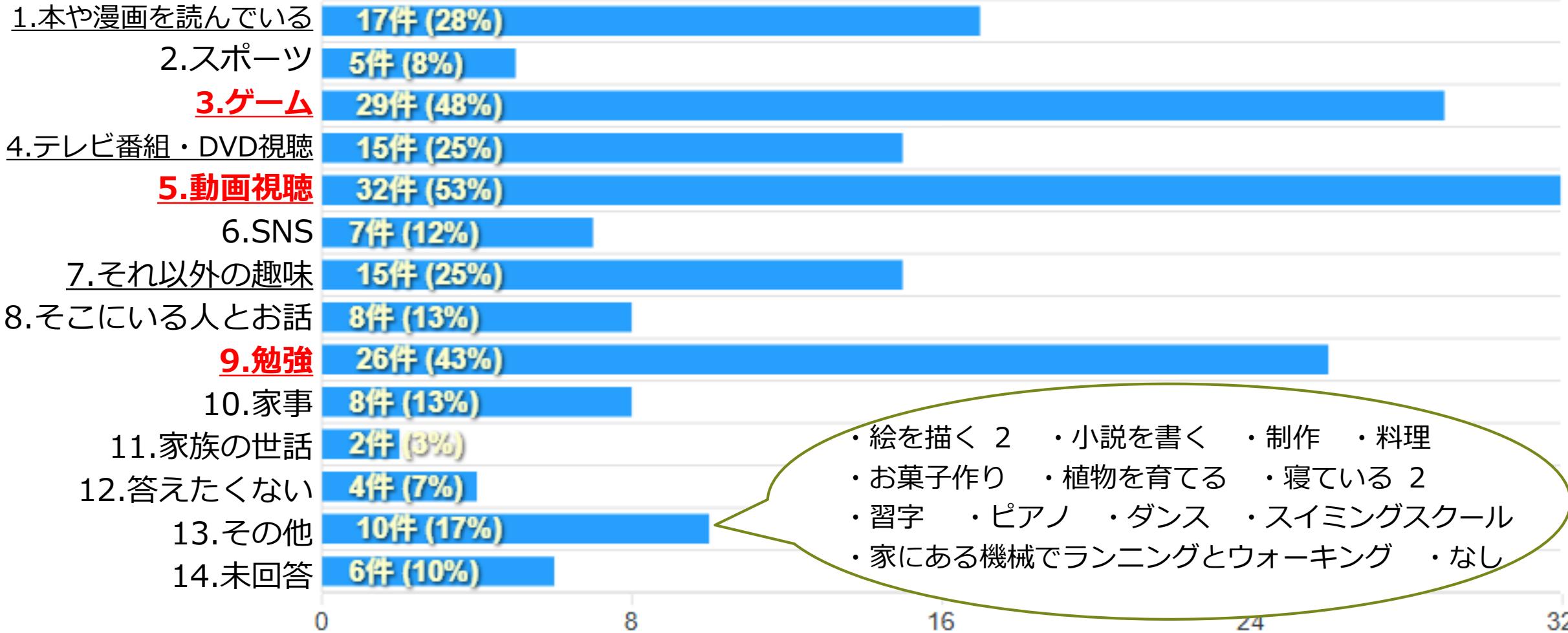
「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q5. 平日の昼間、学校以外で過ごしているところはどこですか。 (あてはまるものすべて)



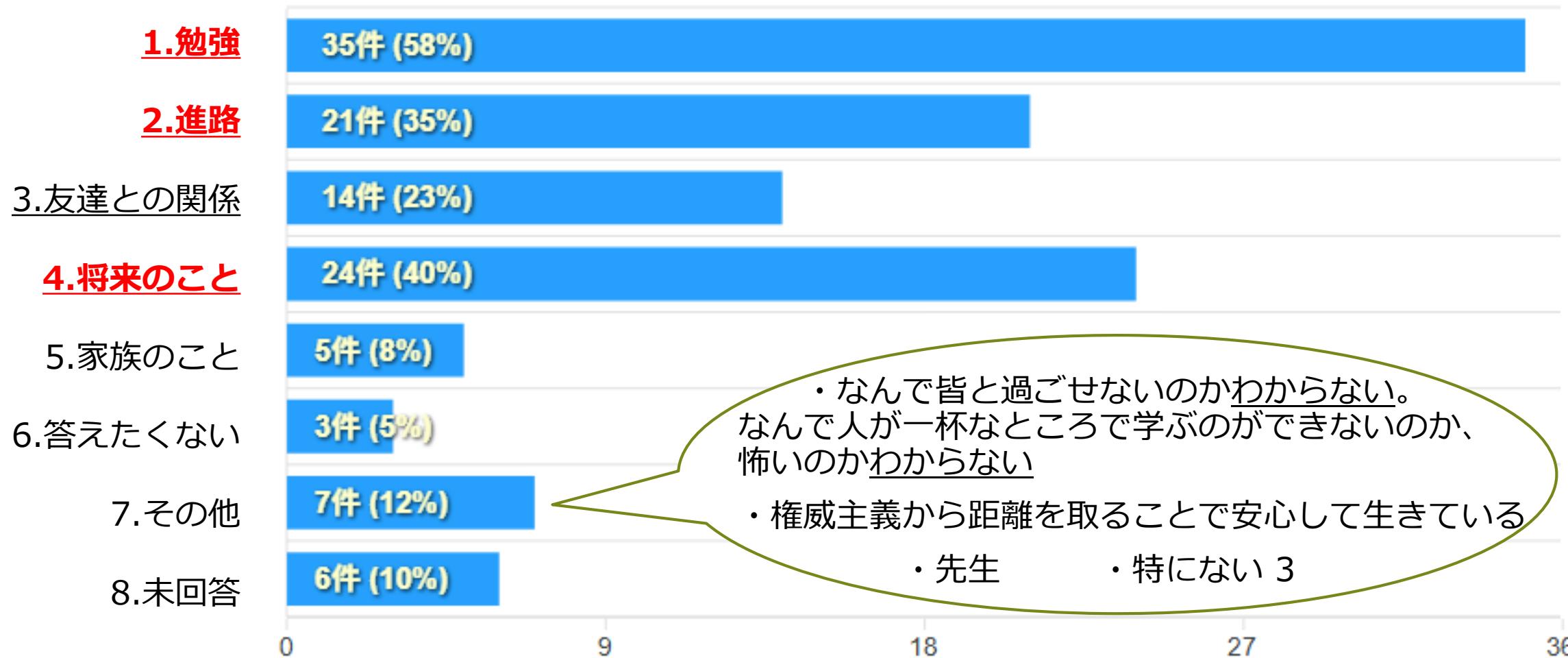
「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q6. あなたはそこでどんなことをしていますか。 (あてはまるものすべて)



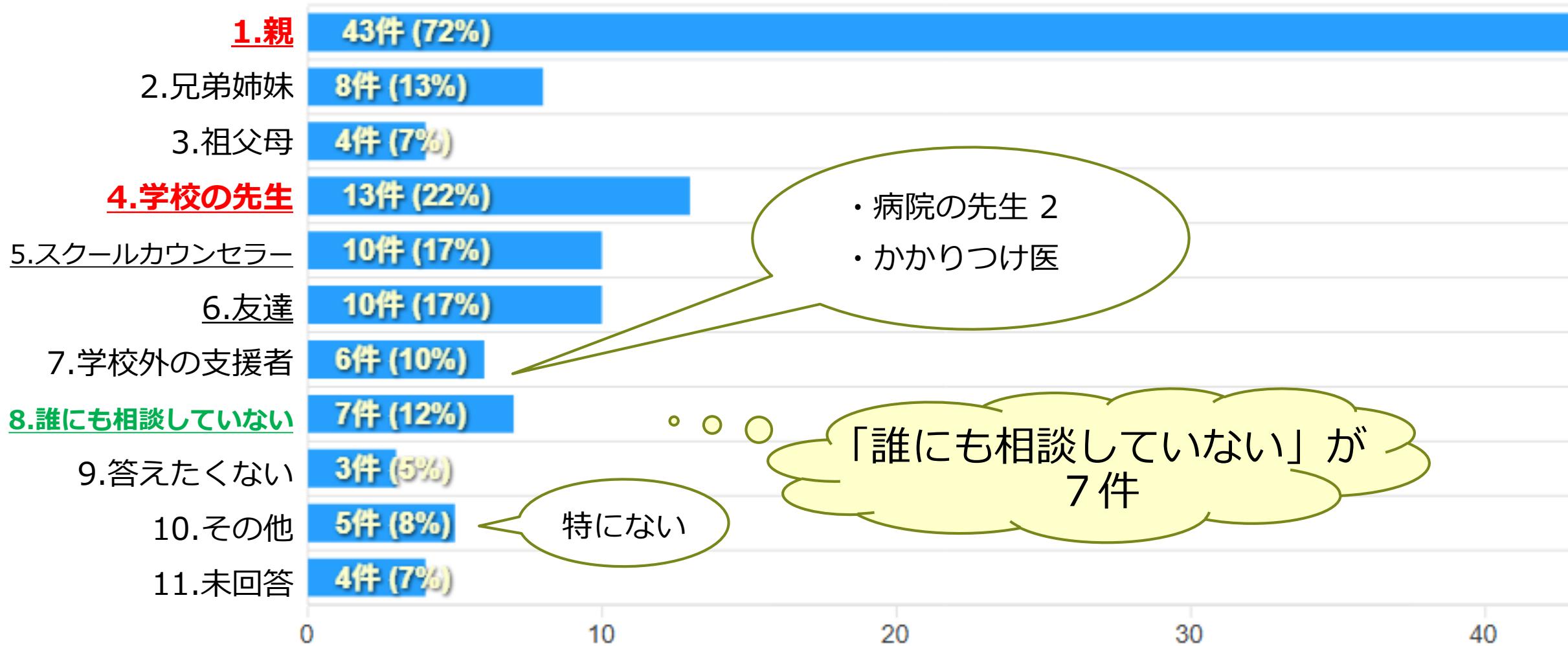
「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q7.あなたが今、心配に思っていることは何ですか。 (あてはまるものすべて)



「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

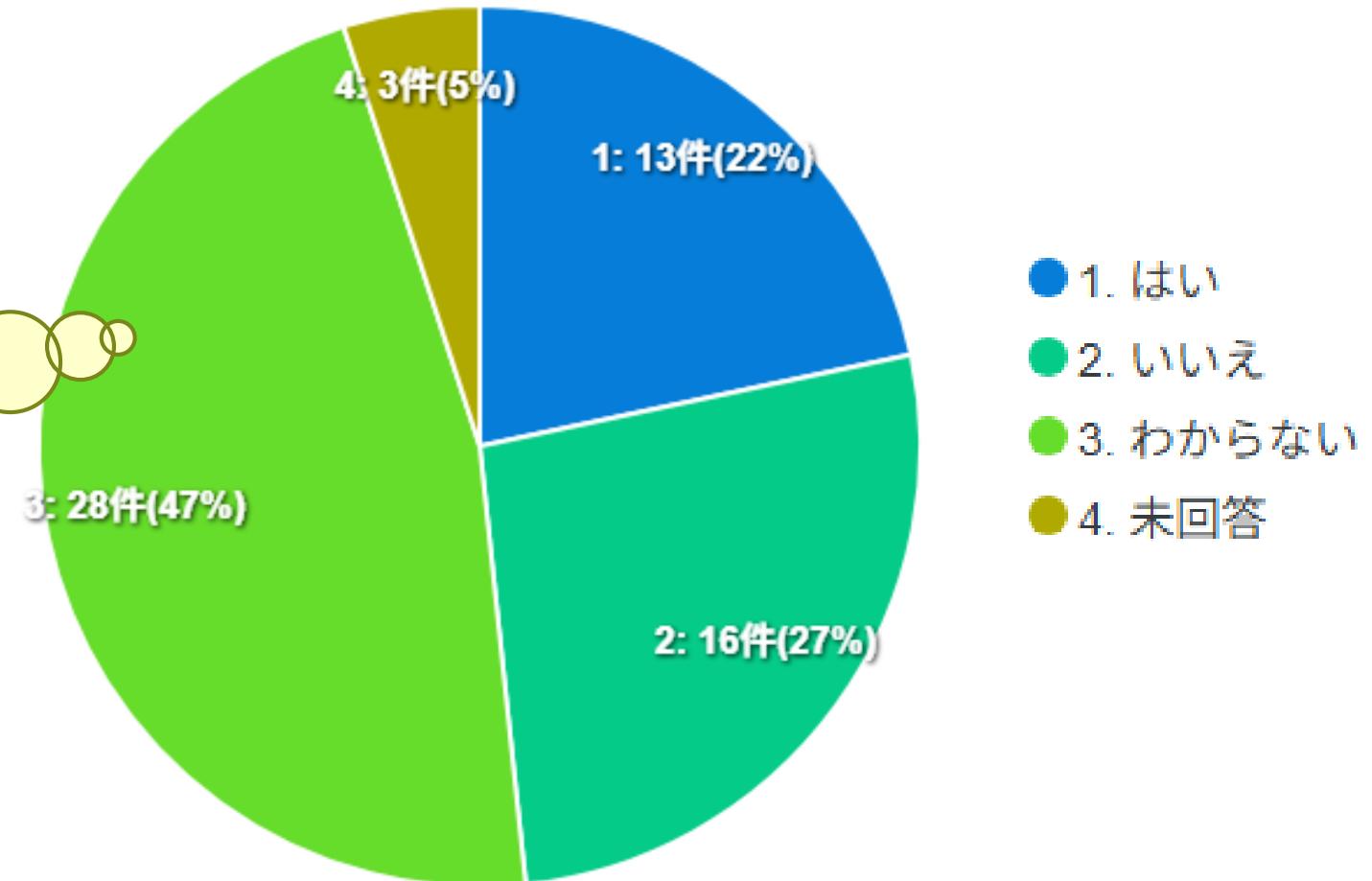
Q8. 悩みや不安等を誰に相談しましたか(していますか)。 (あてはまるものすべて)



「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q8. 館山市では、学校に行きづらい・行けない子どもたちのための学校（学びの多様化学校）をつくる準備をしています。あなたは、そのような学校があれば通ってみたいと思いませんか。

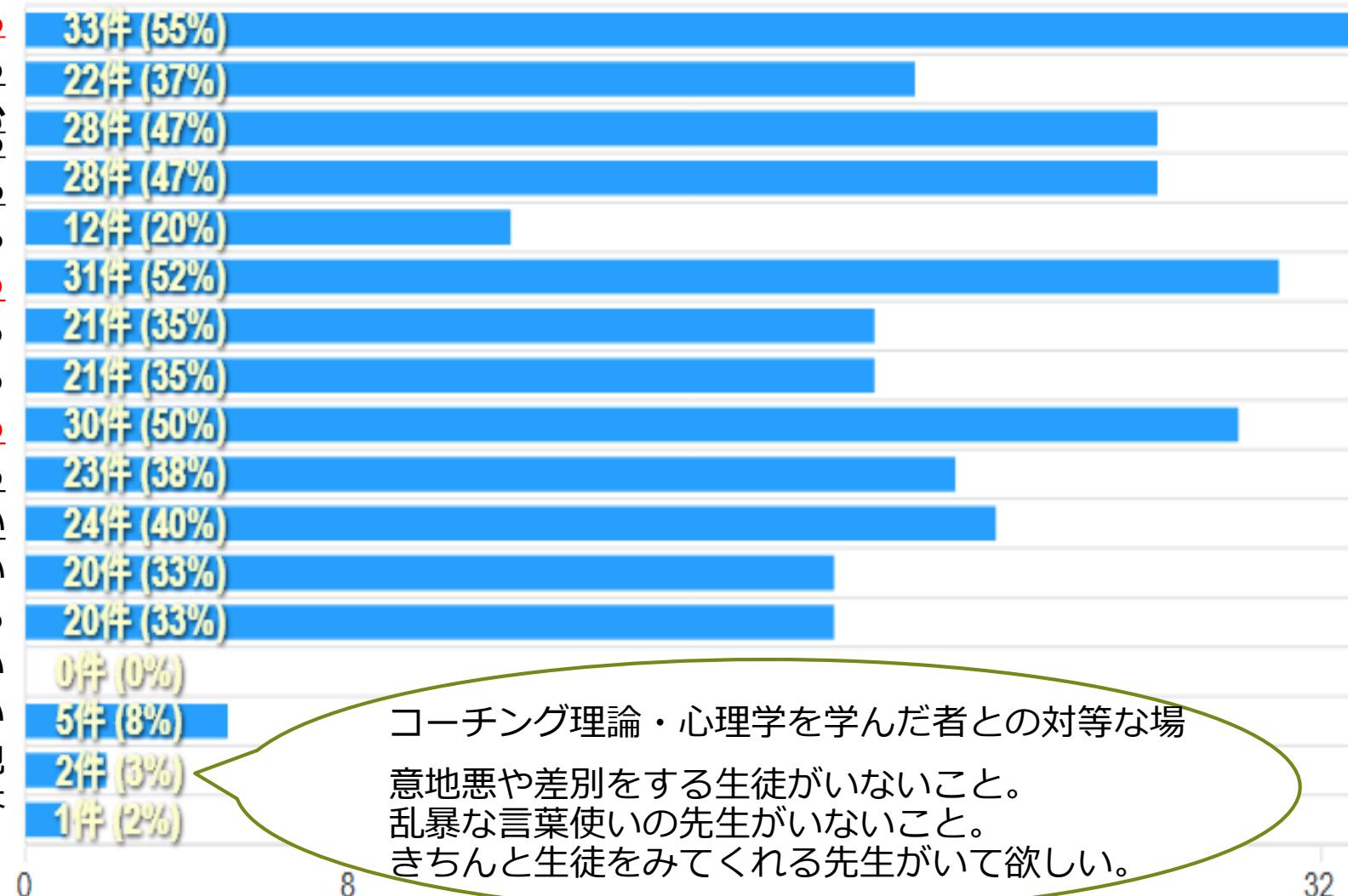
「わからない」が約半数
→自分に合う学校なのか
不安?
↓
体験・見学等の場が必要



「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

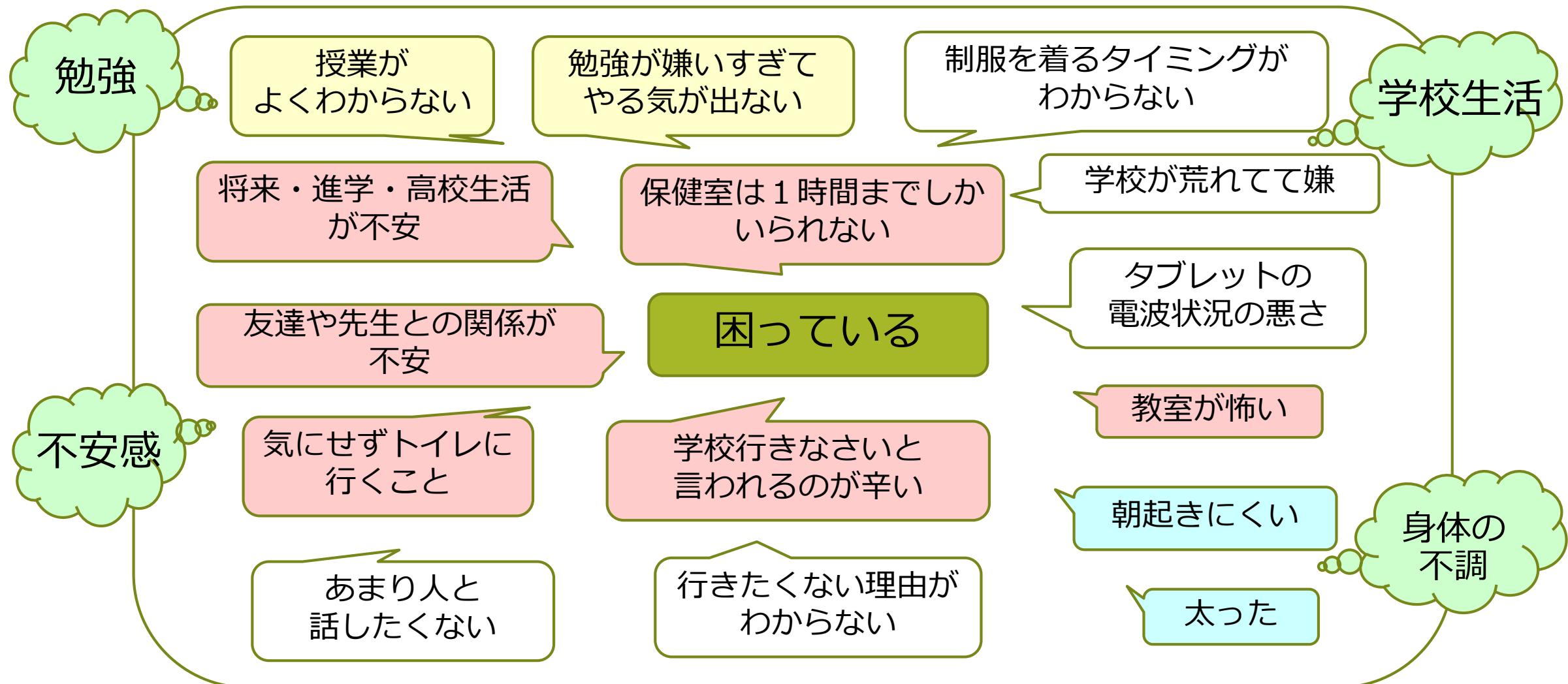
Q10. どんな学校なら行ってみたいと思いますか。 (あてはまるものすべて)

- 1.自分の興味のあること・得意なことができる**
- 2.休んだ時の学習ができる
- 3.自分の苦手なことに自分のペースで取り組むことができる**
- 4.自分の興味や好きなことの合う友達がいる**
- 5.しばらく学校を休んだことがある友達がいる
- 6.友達といっぱい遊べる・話せる**
- 7.先生といっぱい話せる
- 8.相談できる大人や友達がいる
- 9.ゆっくりできるスペース・場所がある**
- 10.一人になれるスペース・場所がある**
- 11.学校の始まる時間が遅い
- 12.学校が終わる時間が早い
- 13.校則や決まりを自分たちで決められる
- 14.選択肢にはない
- 15.答えたくない
- 16.その他
- 17.未回答



「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q1 1. 今、困っていること・やってみたいこと・その他言いたいことなど(自由に書いてください)



「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q11. 今、困っていること・やってみたいこと・その他言いたいことなど

(自由に書いてください)

もう1回運動会
をしたい

休んだ時の勉強や宿題を
すすめたい

やってみたい

他の人との関係を持ってみたい
(他校との交流)

運動がしたい

課題が多い → やらされているだけ
→ 勉強に興味がなくなった

その他

学校
(クラス)
の状況

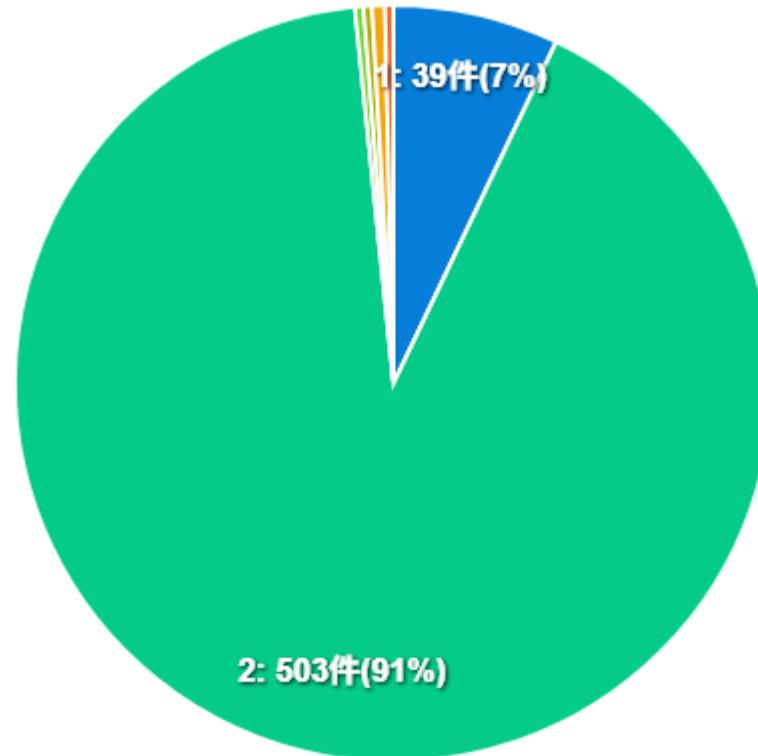
先生の対応

いじめ
対応

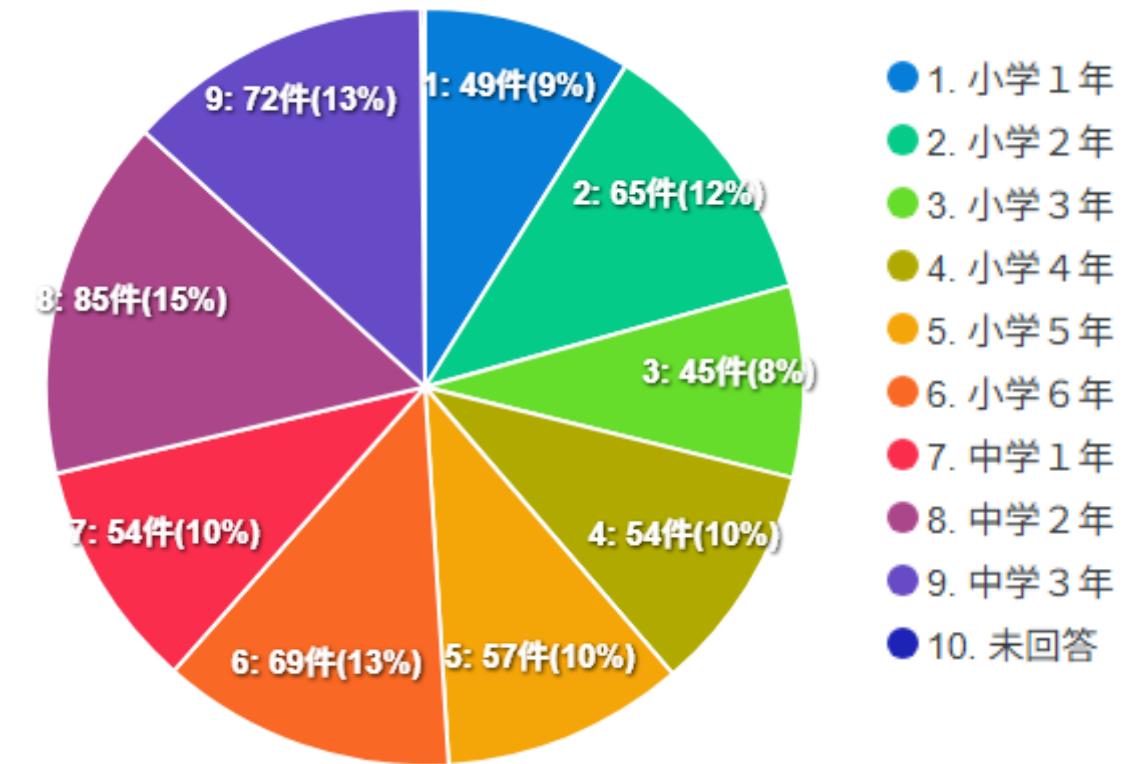
「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

＜保護者アンケート＞ 回答数 551 件

Q1.お子さんとの関係を教えてください。 Q2.お子さんの学年を教えてください。



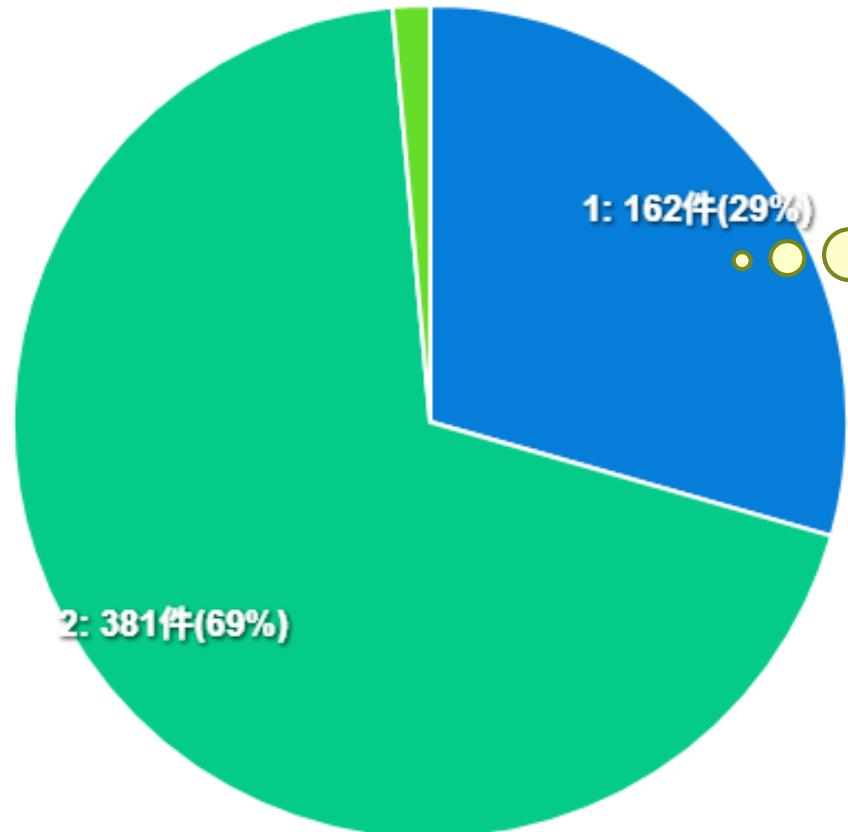
- 1. 父
- 2. 母
- 3. 祖父
- 4. 祖母
- 5. 未回答
- 6. その他



- 1. 小学1年
- 2. 小学2年
- 3. 小学3年
- 4. 小学4年
- 5. 小学5年
- 6. 小学6年
- 7. 中学1年
- 8. 中学2年
- 9. 中学3年
- 10. 未回答

「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q3.お子さんが、現在(以前に)学校に行きづらい状況がありますか。 (ありましたか)



学校に行きづらい状況がある（あった）
162名 / 551名

- 1. ある（あった） ※ (Q4) 以降の質問にお答えください
- 2. ない（なかった） ※ない（なかつた）の場合 (Q7) (Q9) (Q14) をお答えください
- 3. 未回答

「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q4. お子さんの現在の登校状況を教えてください。

学校に行きづらい
状況がある
162名の回答

1.ほとんど登校していない

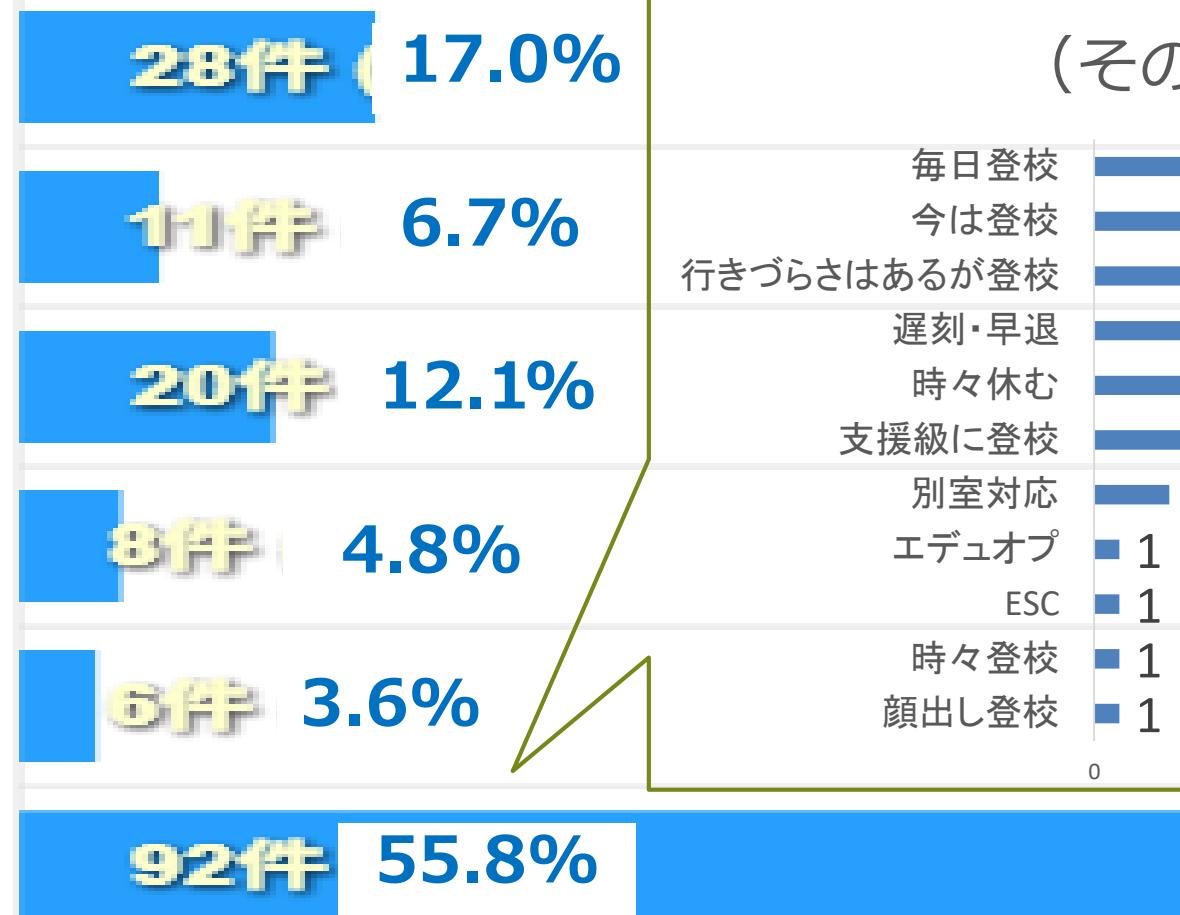
2.週に1~2日登校

3.不定期に登校

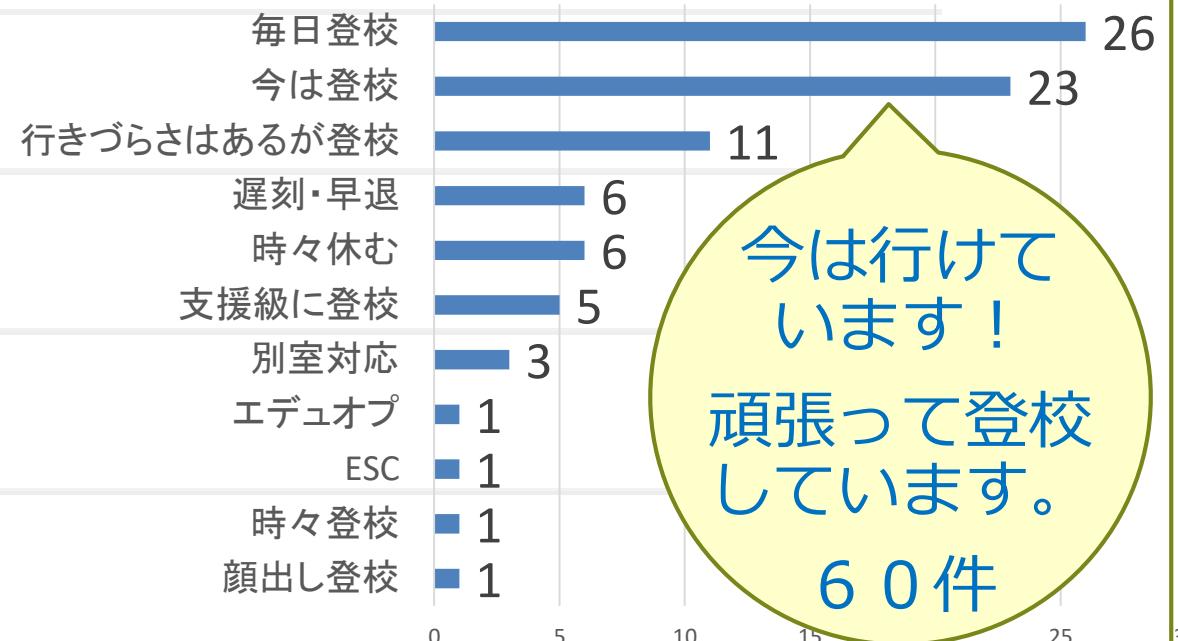
4.別室登校

5.放課後登校

6.その他



(その他の記述)



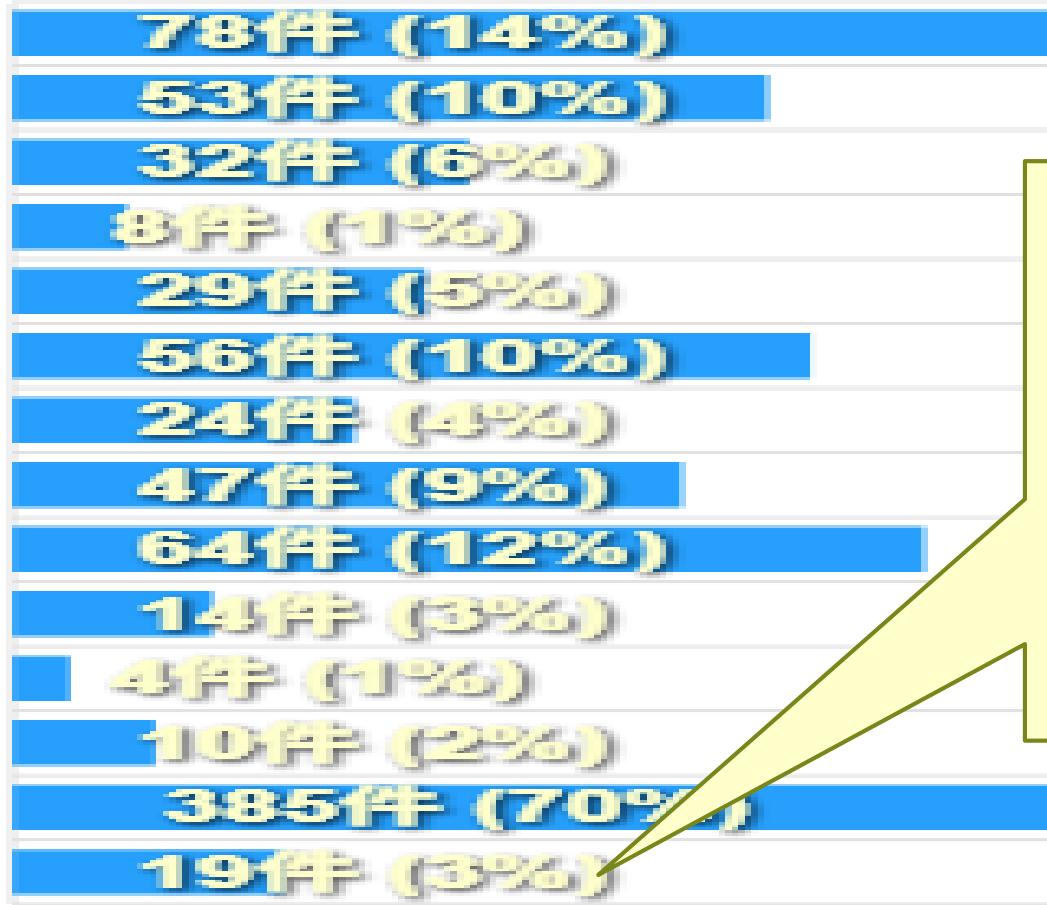
今は行けて
います！
頑張って登校
しています。
60件

「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q5. お子さんが、学校に行きづらくなったきっかけについて、考えられることは何ですか (複数回答可)

学校に行きづらい
状況がある
162名以外は
未回答

- 1.友達との関係**
- 2.先生との関係
- 3.いじめ
- 4.部活動の問題
- 5.勉強がわからない
- 6.学校が楽しくない**
- 7.朝起きられない
- 8.頭痛や腹痛など身体の不調
- 9.不安感**
- 10.生活リズムの乱れ
- 11.家庭の都合
- 12.わからない
- 13.未回答
- 14.その他



(その他の記述)

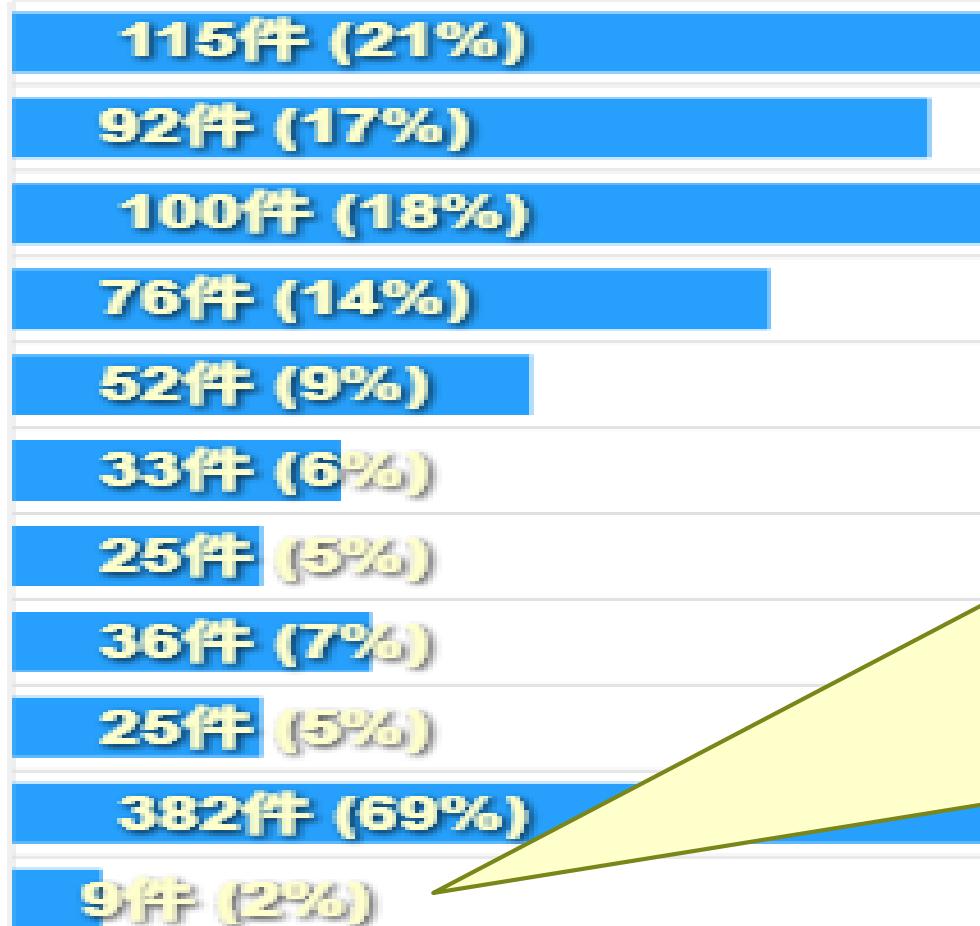
- ・強迫性障害
- ・強度行動障害
- ・ケガや病気
- ・環境の変化
- ・コロナ
- ・給食指導のトラウマ
- ・燃え尽き症候群のような
症状

「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q6. 学校におけるお子さんの支援で特に重視することは何ですか (複数回答可)

学校に行きづらい
状況がある
**162名以外は
未回答**

- 1.人間関係構築**
- 2.学習支援**
- 3.お子さんに応じた支援**
- 4.メンタルケア**
- 5.個別の相談
- 6.社会との接点づくり
- 7.学校復帰支援
- 8.進路支援
- 9.IT支援 (PC・SNS利用方法等)
- 10.未回答**
- 11.その他



(その他の記述)

親への支援

学校の対応

- ・報連相(時間外でも相談)

- ・画一的ではない授業

- ・問題発生時の指導体制

- ・いじめへの適切な対応

教員体制

- ・できることを伸ばす姿勢

- ・生徒に対する適切な対応

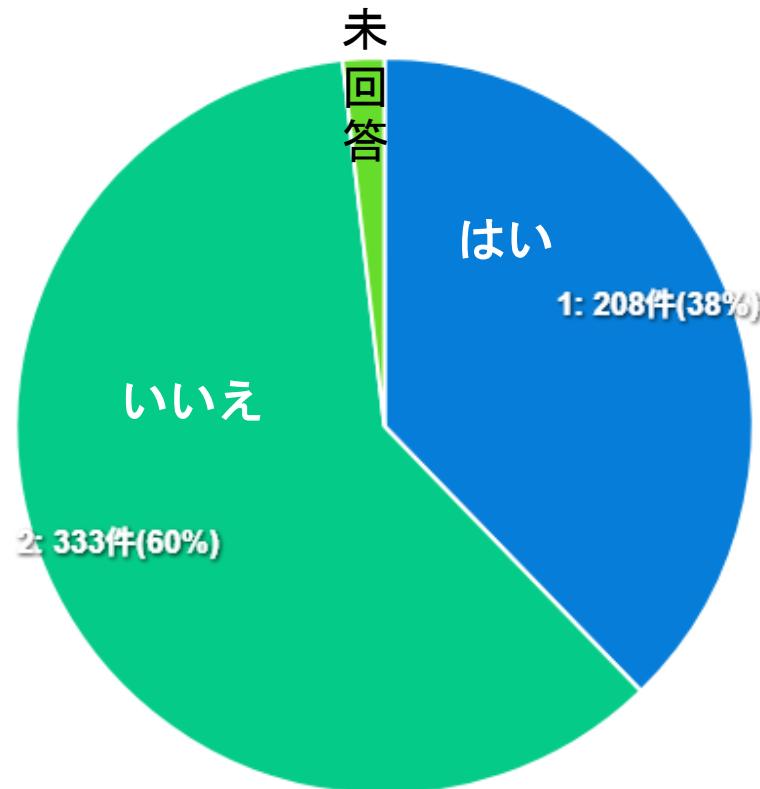
- ・教員への適切な支援

- ・乱暴な先生や生徒の排除

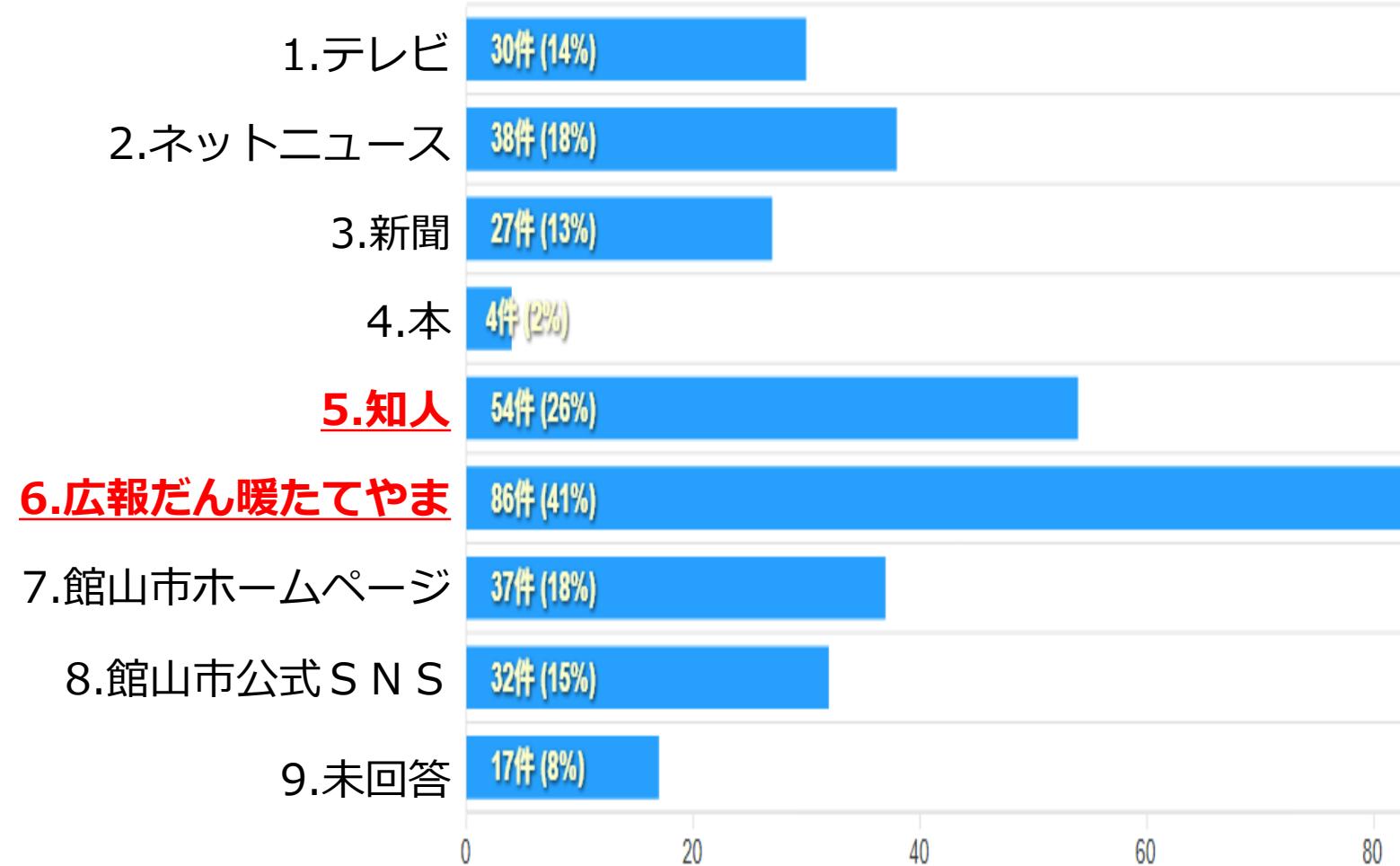
私的組織で事足りるため、
公的支援は不要

「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q7.学びの多様化学校について 知っていましたか。

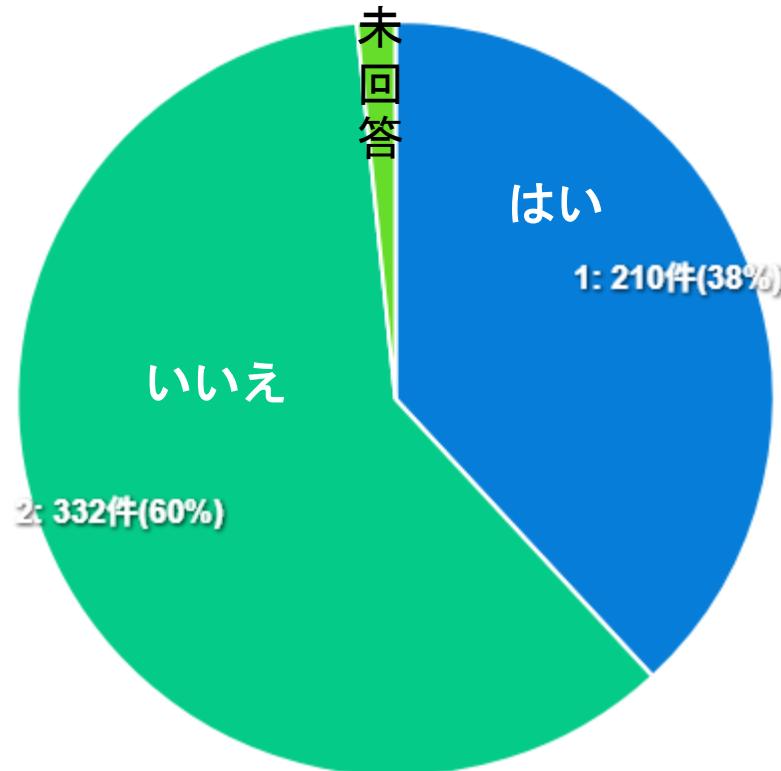


Q8.知ったきっかけを 教えてください。 (複数回答可)



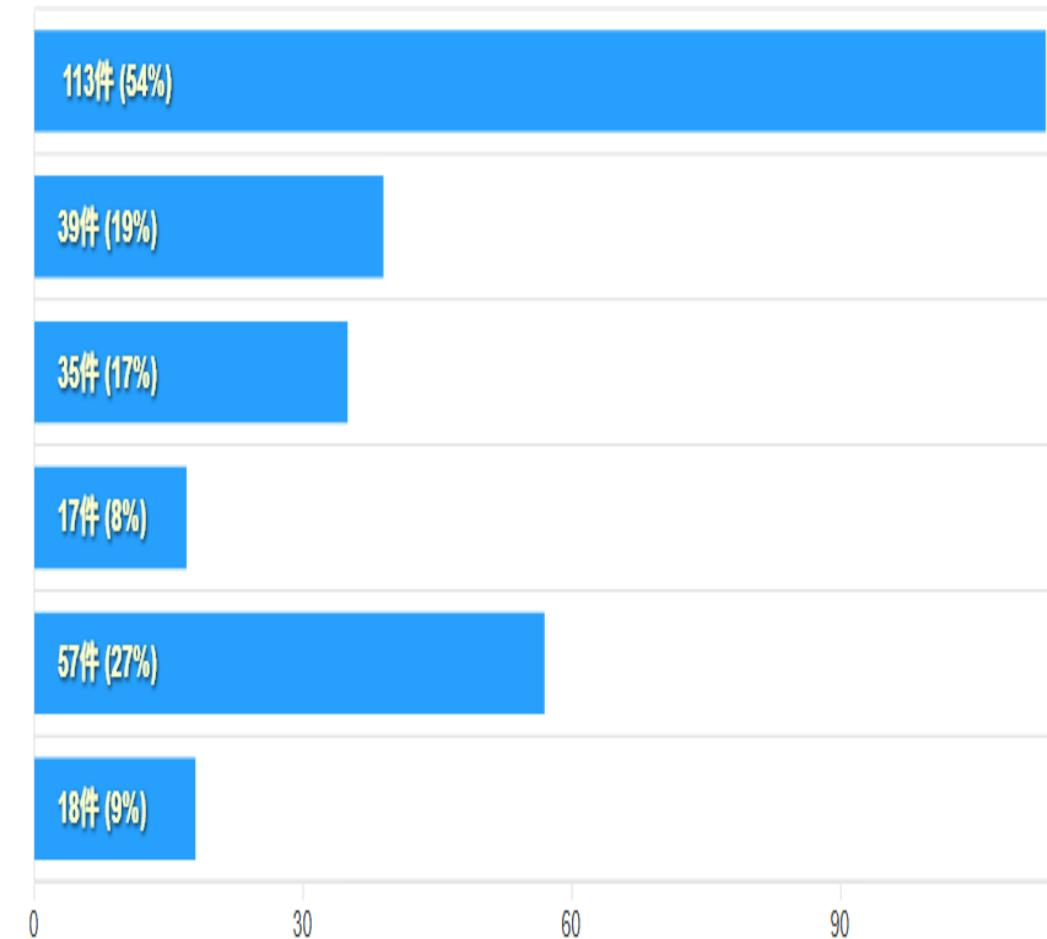
「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q9.館山市が「学びの多様化学校」の設置準備を進めていることを知っていますか。



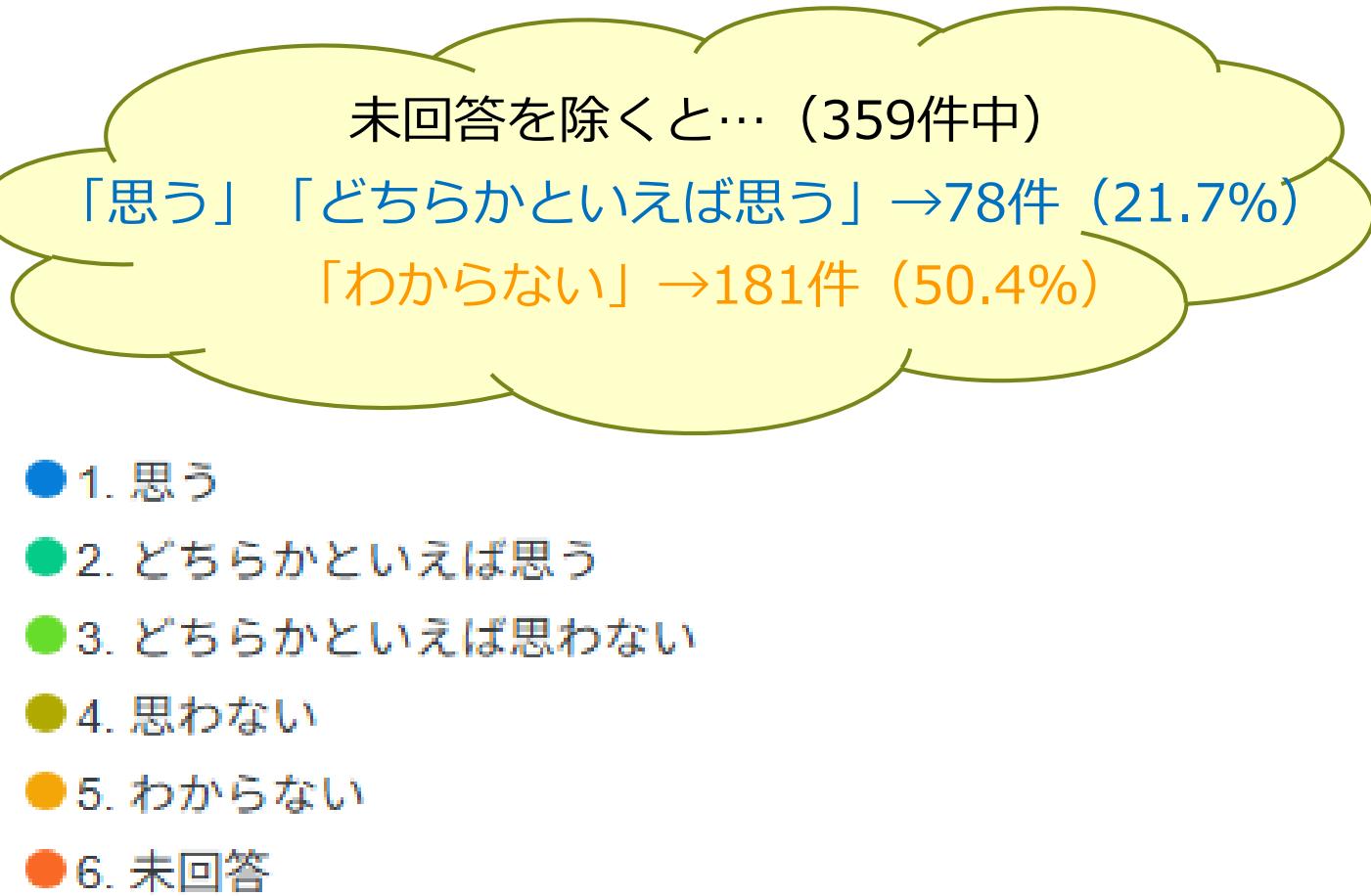
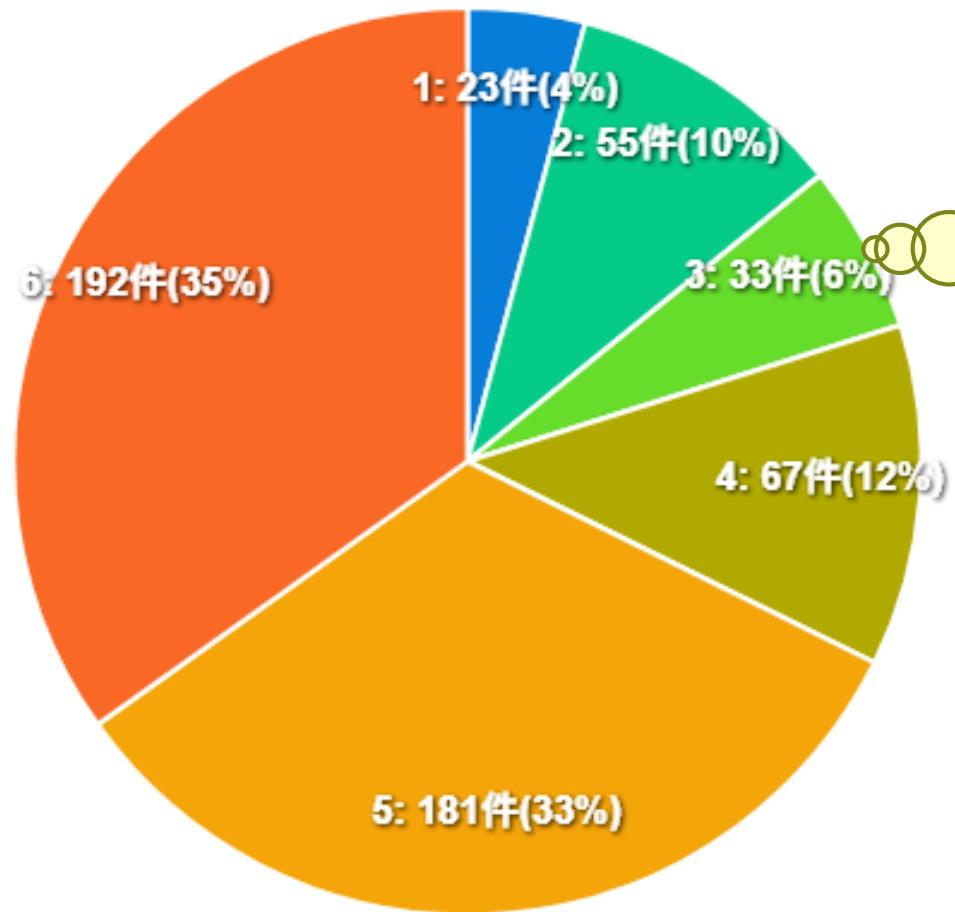
Q10.知ったきっかけを教えてください。 (複数回答可)

- 1.広報だん暖
たてやま**
- 2.館山市ホー
ムページ**
- 3.館山市SNS**
- 4.新聞**
- 5.知人**
- 6.未回答**



「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q11.館山市に「学びの多様化学校」が設置された場合、お子さんを通わせたいと思いますか。



「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q12.お子さんを「学びの多様化学校」に通わせたいと思う理由を教えてください (複数回答可)

「思う」
「どちらかといえば思う」と回答した78名

1.授業が受けられる

2.友達と話したり遊んだりさせたい

3.他の人との関わりを学ばせたい

4.将来につながることを学ばせたい

5.自分のことを理解したり自分を表現することを学ばせたい

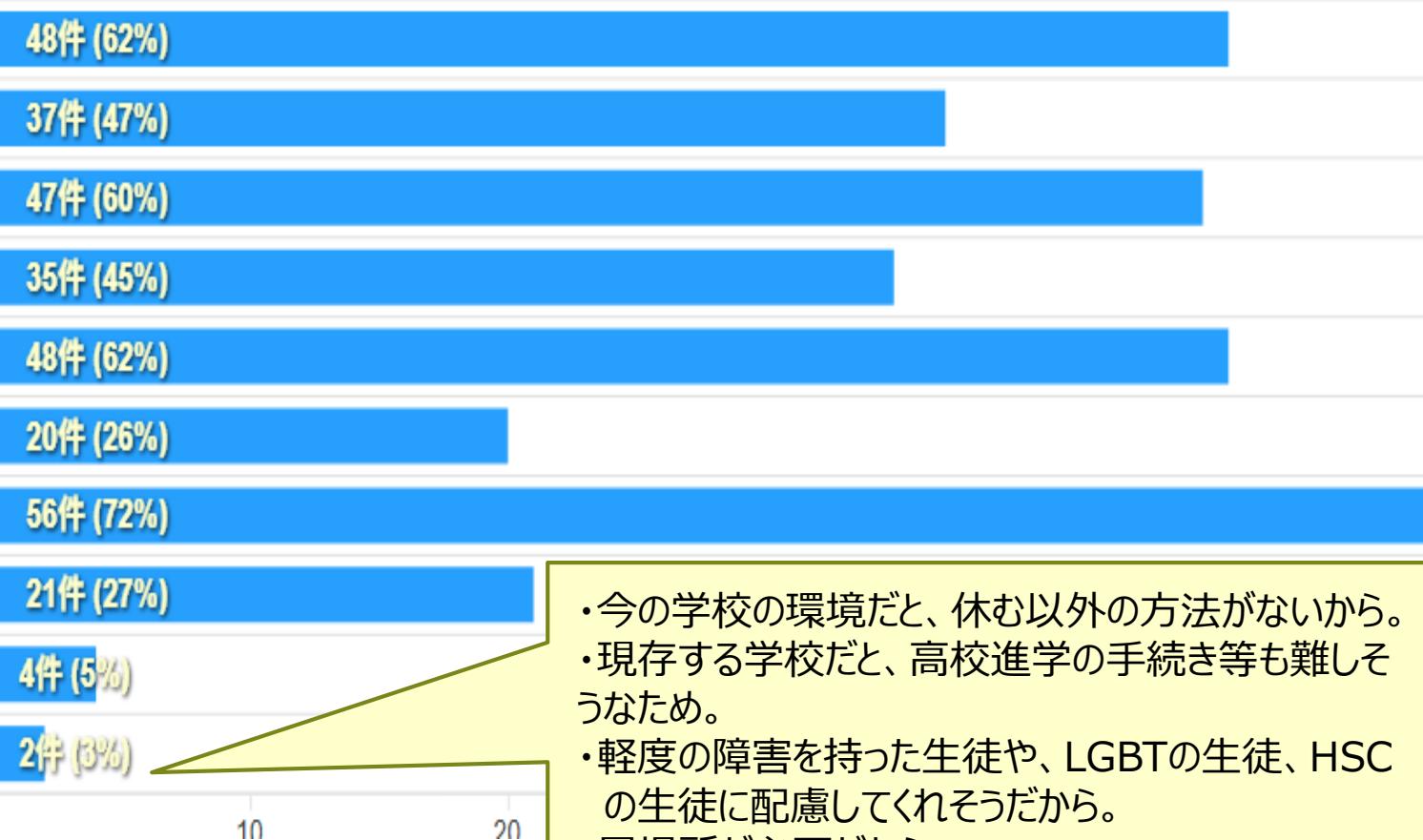
6.学校行事に参加させたい

7.子供に応じた支援を受けられそう

8.進学に向けた準備ができる

9.未回答

10.その他

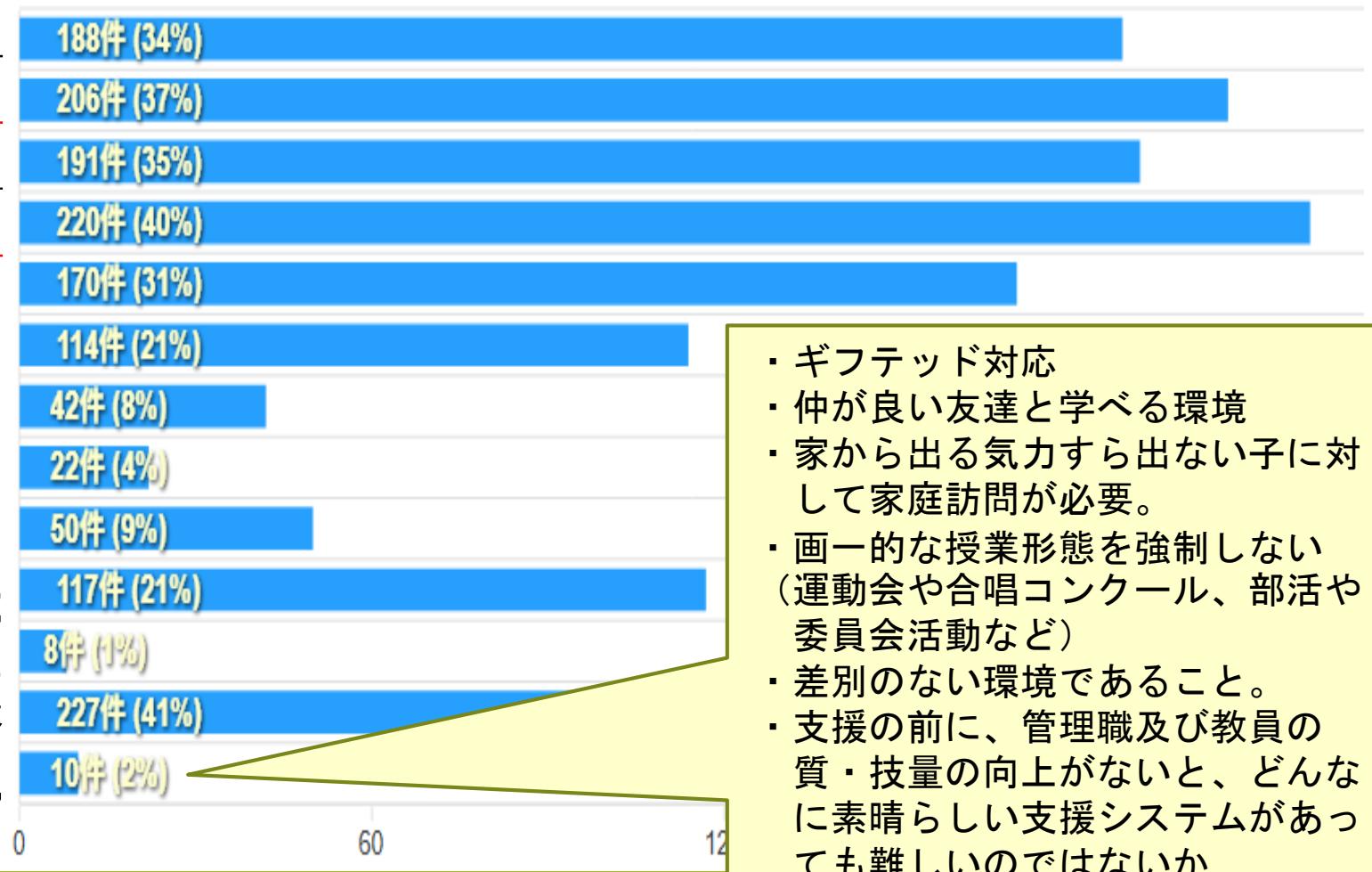


- ・今の学校の環境だと、休む以外の方法がないから。
- ・現存する学校だと、高校進学の手続き等も難しそうなため。
- ・軽度の障害を持った生徒や、LGBTの生徒、HSCの生徒に配慮してくれそうだから。
- ・居場所が必要だから。
- ・少しでも、“学校”というものが良いものである、という意識が持てたら将来、家庭を持つことがあった時の糧になると思われるため。

「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q13.お子さんが「学びの多様化学校」に通うために、どのような具体的な支援があると良いと思いますか。 (複数回答可)

1. 興味のあること・得意なことができる
2. 習熟状況に応じて学習できる
3. 苦手なことにも、自分のペースで取り組める
4. 困ったときにはいつでも相談できる
5. リラックスできるスペースがある
6. 一人になれるスペースがある
7. 始業時刻が遅い
8. 終業時刻が早い
9. 校則や決まりを子供たちで決められる
10. オンラインでの授業対応が可能
11. 選択肢にはない
12. 未回答
13. その他



「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q14. 「学びの多様化学校」に期待することがあればお書きください。

(自由記述)

<行きづらさ有の保護者>

発達面での困り感

一人一人（特性）
に合った支援

安心して過ごせる環境
大丈夫と思える環境

思っていることを話せる環境

自分らしく

好きなことや得意な
ことが伸ばせる

子供

安全感

スクールカウンセラーの常駐

自信が持てる

子供のペースで

学習面

進学サポート

オンライン授業

自主性重視の家庭学習（宿題なし）

本人が行きたいと
思う学校

タブレットで
テスト

社会的に
自立できる力

コミュニケーション

言語聴覚士

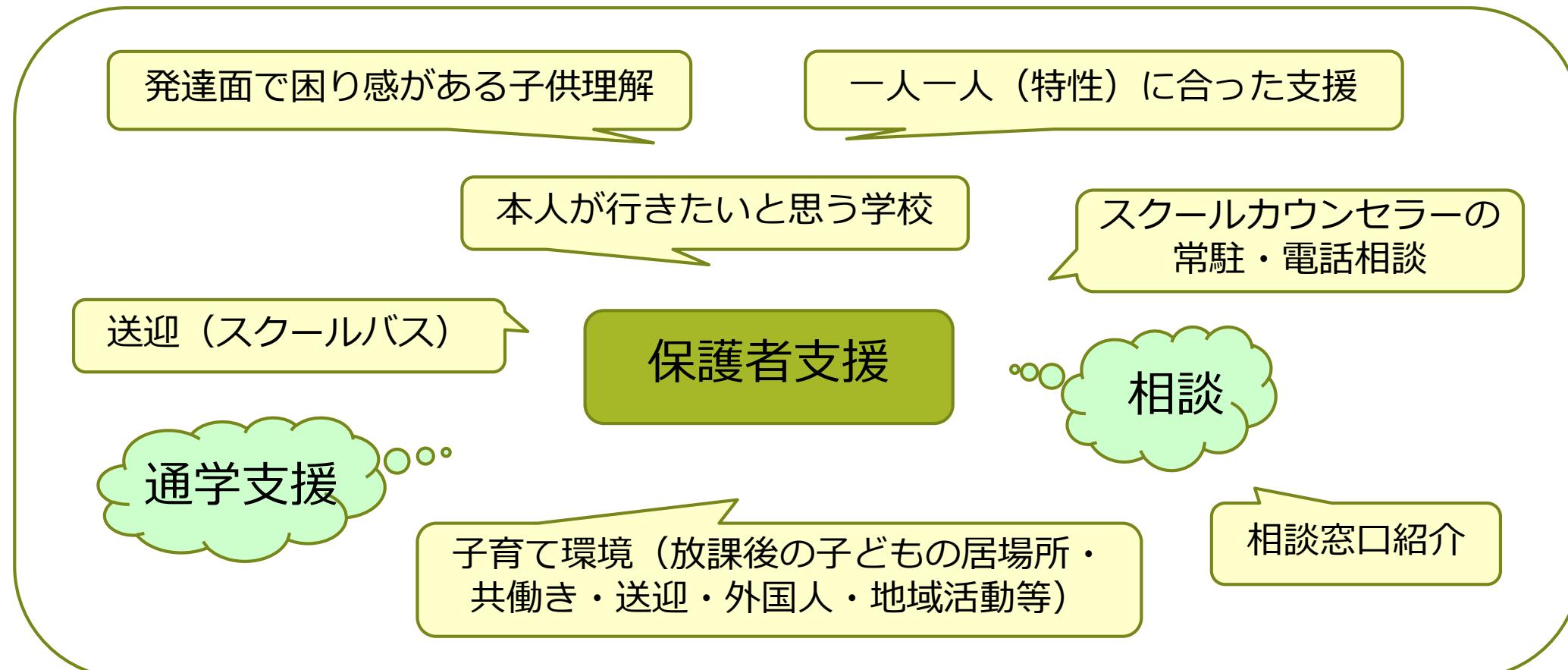
外の世界と交流

他者を慮れる

「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q14. 「学びの多様化学校」に期待することがあればお書きください。 (自由記述)

〈行きづらさ有の保護者〉



「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q14. 「学びの多様化学校」に期待することがあればお書きください。 (自由記述)

＜行きづらさ有の保護者＞

困り感がある子供に
寄り添う学校に！

落ち着ける 明るくて
優しい雰囲気の学校

社会・学校・人とのつながり
…すべてを学べる学校

発達心理学を
熟知した職員

胸を張って「学びの多様化学校出身」
と言える学校に

医療・福祉・地域との連携

先生と子供が
きちんと向き合う

教職員

こんな学校に！

各関係者間の情報共有

子供に寄り添う
優しい先生

いじめ加害者と
被害者両者への
ケア

連携

信頼できるスタッフ

背景にも目
を向けた
子供理解

理解

周囲からの理解
(地域や様々な年代の方)

人としての
尊厳を尊重

「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q14. 「学びの多様化学校」に期待することがあればお書きください。 (自由記述)

＜行きづらさ有の保護者＞

学校の在り方を見直すことを前提としなければ、多様化は実現できない
(学校が楽しくないことを子供たちだけの問題と捉えないで)

学校の在り方

学校
生きる喜びを見出す
お互いをリスペクトする心を育む
心が通う場所

周囲からの理解を得られた環境での設立
(地域や様々な年代の方)

その他

通常校からの
排除のような形にならないように

そういう場所でさえも
行きたくない・
行けない子がいることを理解してほしい

多様化を勘違いして
逃げるだけの人生を
選んでしまう人が
生まれないように

少しでも早く

高校生も
対応可能にして

転校という形
ではなく
通えるといい

現時点では
全く期待していない。
期待できそうな
構想・計画を！

「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q14. 「学びの多様化学校」に期待することがあればお書きください。 (自由記述)

＜行きづらさなしの保護者＞

生きづらさを抱えて
いる子たちの支え

一人一人（特性）に応じて
臨機応変に対応

オープンで地域との関わりのある場所

学校の楽しさを
体験できる場

今後の人生に劣等感や不安を
抱くことのないよう導き支援

個性を伸ばせる場

子供が
のびのび生活

自信を
つける場

こんな学校に！

いつでも行くことのできる体制

卒業後のこと相談できる場

クラス廃止

ギフテット対応

カウンセリング環境

他校の同級生との交流

授業選択制

オンライン対応
短期通学

小→中の接続も
途切れることなく

その子供、親に合った
居場所の提供

「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q14. 「学びの多様化学校」に期待することがあればお書きください。 (自由記述)

＜行きづらさなしの保護者＞

得意を伸ばす分野の専門家・
医療職・作業療法士・福祉等
専門家の配置

個に合わせた指導が
できる、
子どもの気持ち、
親の気持ちに
寄り添える指導者

支援が必要な子供への
接し方ができる先生

教職員

一斉指導ではない授業

やらなければ…ではなく
「やりたい！」ができるように

その子供、親に合った
居場所の提供

保護者支援

通学支援

教える人の当たり前が当たり前じゃなく
人それぞれ正しいと思う事が違う事を学ぶ

「学びの多様化学校」設置に向けてのアンケート結果について

Q14. 「学びの多様化学校」に期待することがあればお書きください。 (自由記述)

〈行きづらさなしの保護者〉

少子化、自治体の縮小を鑑みても
不必要的設備投資は慎重になるべき。

自宅で通常授業のオンライン受講、
録画授業の受講で出席認定するなど、
学びを止めない方法はあるはず。

多様化に配慮しすぎることで、
本来の学校の質が落ちては本末転倒。

遊びのように見えるので、
勉強はちゃんとしっかり教えてほしい

県立学校（特別支援学校）での不登校など
市立学校以外の在籍の子でも対象にしてほしい！

多様化で自由に過ごし
大人になる子ども達が
どんな社会人に
なるのか気になる
多様化を訴えて
社会のせいにするのか

通常校へ戻りたい、戻れるのでは?と
なった時のサポートシステムが
出来ていなければ、
根本での問題解決にはならない

全国的に、行政が信用されて
いない中で開校しても意味がない

通常校の関係者が関わりを省みる機会
を持つことが無くなり、
安易に特例校への誘導が
始まるのではないかと危惧する。

懸念の声